

## 参院で必ず廃案へ！一人ひとりが行動を起こそう



扶桑町議会は全議員賛成で戦争法案反対の意見書を可決しました。扶桑町が地元で、来年の参院選で改選となる自民党の藤川政人参院議員に「良識の府として戦争法案を廃案に」とFAXをどしどし送って要請しましょう。藤川政人国会事務所 FAX 03-6550-0057

記録的な猛暑の中、8月2日（日）3回目となる戦争法案反対尾北集会が江南市役所南玄関で開催され、約120人が参加しました。

主催者代表の江南9条の会の石原之浩さん、千秋病院の平井医師、社民党の山市議、日本共産党の高木義道扶桑町議が、それぞれ戦争法案の廃案めざす決意を表明。「平和憲法壊す、安倍政権はいますぐ退陣」などと声を上げながら平和堂まで行進しました。

この日は一宮市で250人、犬山市でも100人の参加でそれぞれ戦争法案反対の集会が開催されました。

戦争法案の審議が参議院に移り、日本共産党の小池晃、井上哲士、仁比聡平議員の連日の質疑で、戦争法案の危険と違憲性はますます明瞭に。高校生や大学生など若い世代の大規模な反対デモなど、空前の規模で反対世論が広がっています。参議院で廃案にするために、ひとりひとりが具体的な行動を起こしましょう。

## 学童保育、施設増設と指導員確保が急務

小学生を持つ共働き家庭にとって、夏休みはとりわけ学童保育の必要性が高まります。6月議会で日本共産党議員団は、小学校体育館等を臨時の学童保育室として確保し、待機児童が出ないよう対策を求めました。



昨年小学校の隣に建設された宮田学童保育室

しかし、指導員不足から臨時学童保育室を設置することはできず、この夏休み中、市内数カ所で待機児童が出ていることがわかりました。学童保育の基準を定める条例によれば、1クラスの定員は児童40人（ただし、出席率を加味した平均出席児童数のこと）。1クラスあたり指導員2名が必要ですが、募集しても確保できず慢性的な指導員不足が続いています。

さらに法改正で、学童保育の対象学年を6年まで拡大しなければなりません。施設不足のため、市内10校のうち5校で4年生まで拡大しただけ。今年度施設を整備する門弟山小と古西小で来年度から、校庭西側に施設建設予定の古東小では再来年度から、それぞれ4年まで拡大する方針ですが、古南小と布袋小では目途が立っていません。

早急な学童保育施設の増設、保育内容の充実、指導員の増員、処遇改善が求められています。

## 放課後子ども教室との一体化で大丈夫か？

共働き家庭の子どもたちの、家庭に代わる放課後の生活の場が「学童保育」であるのに対し、小学校全児童を対象にした遊びの場が「放課後子ども教室」です。週3回、夕方5時まで無料で、登録児童に遊びの場を提供しており、市内の4校で実施。今年度中に古西小でも始まる予定です。

同時に江南市は、国の方針に従って古西小で、学童保育と放課後子ども教室の一体的運営を開始する方針です。しかし、役割が違うものを一体的に運営することで、学童保育が安心した生活の場でなくなるなど、質の低下が心配です。一体化ではなく、それぞれ拡充しつつ連携させていくことが大切ではないでしょうか。

## たけだ良介（比例予定候補）江南で訴え

参院選まで1年。比例8議席確保、愛知選挙区ですやま初美予定候補を国会へ押し上げようと、7月25日午後、うだるような猛暑の中を比例予定候補の、たけだ良介さんが江南市内4カ所を駆けめぐりました。長野県出身の35歳。3人の幼い子どもたちの父親として決してどの青年も戦場には送らない、戦争法案は絶対廃案にしよう！もはや独裁政治というべき安倍政権を打ち倒そう！と、力強く訴えました。



## 江南団地のサロン活動がテレビに

入居者の高齢化が進み、独居率が35%以上にもなる江南団地。地域の力で高齢者の引きこもりや孤独死を防ぎ、元気にいきいきと暮らしてもらえるようにと、ボランティアの方々が見守りとサロン活動を熱心に行っています。団地自治会副会長を長年務めている森ケイ子議員や日本共産党後援会の人たちも、立ち上げ時からこの活動を担って頑張っています。

7月30日の夕方、メーテレ「UP!」で、江南団地のふれあいサロンの様子が紹介されました。団地集会所に高

齢者が集まり、健康チェックや「いわし体操」を楽しそうに行っていました。高齢者サロンはすでに市内各地にあります。未実施地区も多く残されています。市内全域に広がってほしいものです。

